

# 日本化学会 バイオテクノロジー部会は 分子テクノロジーの 視点にたち、バイオと 関連する学会や研究会の 連携を推進します



最近のノーベル化学賞（以下示す）にみられるように、  
バイオ研究そのものが新しい化学分野の開拓と理解されています。

## 最近のノーベル化学賞にみるバイオ関連研究

- 2012年 Gタンパク共役型受容体の研究
- 2009年 リボソームの構造と機能
- 2008年 GFP（緑色蛍光蛋白質）の発見と応用（下村脩ら）
- 2006年 真核生物の転写機構
- 2004年 ユビキチンのタンパク分解
- 2003年 イオンチャネルの構造と機能
- 2002年 生体高分子の解析手法（NMR,MS）（田中耕一ら）

我々、バイオテクノロジー部会は、新分野の開拓を学会ベースで  
広げていきたいと考え、「学会間の橋渡しを行う」役割を全うします。

共催・協賛・後援の申請は

<http://bio.chemistry.or.jp/>

よりお手続き下さい。

## 日本化学会 バイオテクノロジー部会 DIVISION of BIOTECHNOLOGY THE CHEMICAL SOCIETY of JAPAN

日本化学会バイオテクノロジー部会は、1995年に発足した生物工学研究会を母体として日本化学会の5番目の部会として1997年に設立されました。近年、化学領域でも細胞や遺伝子、タンパク質、酵素など生体分子そのものを利用した研究が増大していることに対応したもので、バイオテクノロジーそのものを対象として活発な部会活動（日本化学会のバイオテクノロジーに関する行事計画と運営、研究発表会・シンポジウムの開催、情報収集）を展開させています。

### 部会員には特典があります

#### ニュースレター

- ・ニュースレター最新号が発行日にメール配信されます。（年1,2回発行）
- ・ニュースレターのバックナンバーはWEB会員用ページよりいつでも閲覧可能です。

#### 広報・集客

- ・メール発信によりバイオテクノロジー部会が共催、協賛する学会講演会や展示会などの企画の紹介、人事公募などの情報を随時（希望により）提供します。なお、法人会員にはWEB広告などの特典もあります。

#### シンポジウム・部会運営

- ・日本化学会 生体機能関連化学部会と連携して開催する「バイオ関連化学合同シンポジウム」に部会員特別価格にてご参加頂けます。バイオテクノロジーに関する最新の情報が得られ、関係者との交流を深めることができます。
- ・継続して1年以上在籍の会員は「バイオ関連化学合同シンポジウム」での部会講演賞の対象となり、シンポジウムの発表を行う際に申請して頂きますと受賞の可能性があります。※ただし受賞時に40歳以下であること
- ・本部会の各種委員会、各支部や部門の委員として、その企画・運営に参加できます。

#### ● 入会方法 ●

Webよりお申し込み下さい。

化学会会員の方 → 追加申し込み  
<https://mypage.csj.jp/addbukai.php>

化学会会員でない方 → 新規申し込み  
<https://mypage.csj.jp/bukai.php>

#### ● 年会費 ●

	日本化学会会員	日本化学会非会員
正部会員	2,000円	4,000円
学生部会員	1,000円	
法人会員	50,000円(1口)	

日本化学会 バイオテクノロジー部会 ——— <http://bio.chemistry.or.jp/> ———

〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台1-5 Tel : 03-3292-6163 Fax : 03-3292-6318 E-mail : bio@chemistry.or.jp